

修学旅行新聞

発行所 財団法人 全国修学旅行研究協会
発行人 鴻田好通
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-17-1 N K第1ビル
☎ 03 (5259) 0631

財団法人全国修学旅行研究協会(全修協)は、日本の教育の振興に寄与することを目的とし、教育を熱愛し子供たちの幸福を希求する人々の支持を得て、修学旅行の改善向上を目指して、全国的規模で活動する文部省許可の教育研究財団である。

関東・東海・近畿 三地区公立中学校修学旅行連合委員会 平成11年度(第28次)総会が開催される。

去る七月三日(火)名近畿の各地区修学旅行連合委員会(全修協)の委員長・会長を以て、三地区公立中学校修学旅行連合委員会の平成11年度総会が、名近畿の各地区の事務担当者が出席された。

総会は、前年度の会務報告から始まり、今年度の事業計画と新役員人事を決定して終了した。本年度の主な事業は次の通り。

平成10年度 全国の公立高校で 海外修学旅行を308校で実施 生徒 53,949人が参加した。

(財)全国修学旅行研究協会調査「平成10年度全国公立高校海外修学旅行実施状況調査」まとまる。

さきほど、(財)全修協より「平成10年度、全国公立高校海外修学旅行実施状況調査報告」が発表された。

この調査は、(財)全修協が各都道府県・政令指定都市教育委員会の協力を得て毎年実施しているもので、このたび平成10年度実施の海外修学旅行状況がまとまったものである。

公立高校における海外修学旅行は、昭和六十二年、浦和市立高校の中国修学旅行が公立高校で初のものとされており、それから数えて、公立高校海外

今回の調査報告によると、海外修学旅行を実施している学校数は、平成10年度公立高校(定時制・分校を除く)で三〇八校、参加生徒数で五三、九四九人と

国際化時代となる二一世紀に向けて、海外修学旅行は確実に増加傾向を辿る一方、各校現場からは、海外修学旅行の持つ課題である「安全性・教育性・経済性」の確保・向上についての要望が年々高まることは必須である。

一方、私立高校における海外修学旅行は、公立高校と比べると、これらの課題対応として、(財)全修協はもとより

よりも学校数・参加生徒数共に数段多く、今回把握した公立高校実績に私立高校の推測分を加えると、高きな問題点であり、又、急務である。

海外修学旅行の実施許可地区は、一道二府三六県・六の政令指定都市となっており、学校数で一五万人弱に

今年度の会務報告から始まり、今年度の事業計画と新役員人事を決定して終了した。本年度の主な事業は次の通り。

①安全で合理的な平成11年度修学旅行連合計画の作成
②第一六回全国修学旅行研究大会の開催
③平成11年度修学旅行実施状況報告書の作成

近畿の各地区修学旅行連合委員会の委員長・会長を以て、三地区公立中学校修学旅行連合委員会の平成11年度総会が、名近畿の各地区の事務担当者が出席された。



「校長先生ハイ・チーズ」
(埼玉県北本市立東中学校)

主張

公正取引委員会による近畿地区における 修学旅行取扱業者に対する勧告について

去る六月八日、公正取引委員会より、近畿地区における修学旅行取扱業者九社に対し、独占禁止法の規定に基づいて審査を行った結果、大阪府における府立高等学校及び市立高等学校が実施する修学旅行について、共同して、企画料金及び手配料金の料率並びに旅行費用に係わる見積金額の共通の算定方式を決定している事実が認められたので、九社に対し、同法

禁止の規定に違反するものとして排除勧告を行い、大阪府における市町村立中学校が実施する修学旅行については、六社に対して疑いがあるとして警告を行った。

このニュースは地元はもとちろんの事、全国に流され、教育・学校関係者、保護者、修学旅行関係業界に大いに驚きをもたらした。

この勧告は、いわゆる旅行業者による「修学旅行費

用に係わる「ヤミカルテル」の取扱に「ヤミカルテル」が存在していたこと、公正取引委員会から排除勧告が出されたことについて、非常に驚いている。

当協会は、文部省許可の公益教育法人として、永年修学旅行の改善向上に努めてきた団体である。特に修学旅行の改善向上に関し

事業目的として、各校現場の先生方と共に、各地の修学旅行委員会を運営し、我が国の教育の発展をお手伝いすべく種々の教育研究活動に取り組んできた。

①安全性の確保
②教育性の充実
③経済性の追求

このような状況下、当協会は、このたびの「大阪府内公立高校修学旅行費用のヤミカルテル排除勧告」を旅行

し、21世紀の日本を担う子供達への教育として実施される修学旅行の意義・目的を改めて再認識・再確認していただき、二度とこのようなことを起こさぬよう、十分な問題認識と改善策の実行と徹底をお願いするものである。

修学旅行は学校教育の一環として実施されるもので、教育そのものである。当協会は、今回、問題を起こした旅行会社各社に

歴史的な古都京都に訪れる人々の心を安らぎを求めて旅する人々がその第一歩を

近代的ビルに変貌開業してほぼ二年が経過する。この駅ビルは、建設前の賛否論争の折に心ある人々が懸念したとおり、古都を北と南に大きく分断し、ガラスの城となつて旅行者の前に尊大に立ちふさがつてい

お詫びと訂正
本紙7月号第1面巻頭写真「ベンシヨウクラスリクレーション」の学校名に誤りがありましたのでお詫びして訂正させていただきます。
正しくは、「大阪市富田林市立明治池中学校」でした。

風紋
歴史的な古都京都に訪れる人々の心を安らぎを求めて旅する人々がその第一歩を

近畿の各地区修学旅行連合委員会の委員長・会長を以て、三地区公立中学校修学旅行連合委員会の平成11年度総会が、名近畿の各地区の事務担当者が出席された。

今年度の会務報告から始まり、今年度の事業計画と新役員人事を決定して終了した。本年度の主な事業は次の通り。

①安全で合理的な平成11年度修学旅行連合計画の作成
②第一六回全国修学旅行研究大会の開催
③平成11年度修学旅行実施状況報告書の作成

夢と感動の修学旅行
人が好き。地球が好き。旅がスキ。
近畿日本ツーリスト
運輸大臣登録旅行業第20号 (社)日本旅行業協会会員

楽しい旅に大きな安心。
東京海上火災保険株式会社
「学校旅行総合保険」をおすすめします。
本店 東京都千代田区丸の内1-2-1 ☎03-3212-6211(代表)

教育の窓

「生きる力」とは

難しい論議は別としてこの「生きる力」には、四つの要素が必ず含まれていなければならない。

一つは、「生きる喜び」、二つは「連帯的志向（共生的感情）」、三つは「新たな挑戦（前進的意欲）」、そして、四つは「さわやかな感動（生きる充実感）」である。

「生きる力」の育成は、新学習指導要領、とりわけ大

子どもたちの単なる空間の移動による体験的活動から、今ある現実の環境問題を見出すて、学びの姿勢や自然前あまり意識的に取り上げ



井上 裕吉

日本特別活動学会常任理事
東京学芸大学講師

生きる力の育成とこれからの学校行事

環境教育の視点を活かす

子どもたちの単なる空間の移動による体験的活動から、今ある現実の環境問題を見出すて、学びの姿勢や自然前あまり意識的に取り上げ

「触れる、試す、つくる、発見する体験」へと深化させること。第五は、学習の六つの取り組みにも見られるように、修学旅行は今後の学校・家庭生活に、積極的に生かすよう促し、実践していくこと、いわゆる「生きる力」を育てる学校行事活動の中核的位置を占めていくものと思われる。

豊島産業廃棄物の学習から

今日の日本社会の現状・生活を考える

修学旅行における

環境学習研究・実践レポート VII

岐阜県中津川市立第二中学校

一、修学旅行概要

中津川市立第二中学校（福土 功校長）3年生180人の修学旅行は平成10年6月9日（火）から6月11日（木）の2泊3日で瀬戸内中心に実施された。

◎修学旅行の特色と環境学習との接点



環境学習への取り組みは5クラス中、1クラスの実施で、その他4クラスの行程は、5クラス共通で「白石島海洋研修」を柱に前後の行程に広島・瀬戸内を加えて実施した。

環境学習の取り組みテーマは、瀬戸内海に浮かぶ小島「豊島産業問題」を取り上げ、産廃現場の見学と豊島交流センターでの地元開

校に共通するのは、何より観、社会観まで変えようとする学校生活の最も大きな思、うな生き方の教育、いわば、色濃く投影されているとい出として残る修学旅行を、個々の真の体験的学習へうことである。

第一は、修業（終学）か事後学習としての、生きる知識、生きる知恵としての活動から、将来に生きる学びの起点とする。第二は、日々の学習や、地域に根ざす社会的課題等から修学旅行の新しい研究課題を掘り起こすこと。第三は、単なる学年行動としてではなく、学校全体の特色を生かす学習として活動組織すること。第四は、体験の質「見る、知る体験」から「触れる、試す、つくる、発見する体験」へと深化させること。第五は、学習の六つの取り組みにも見られるように、修学旅行は今後の学校・家庭生活に、積極的に生かすよう促し、実践していくこと、いわゆる「生きる力」を育てる学校行事活動の中核的位置を占めていくものと思われる。

また、構想される学校独自の考え方によつては環境学習を中心に、修学旅行は、国際理解教育や福祉・健康教育にも、広く浸透できる活動領域を有している子どもたちの未来に、人間の愛や自然への畏敬の念を絶やさぬためにも、また歴史や風土への限らない関心や温かな思いを深めるためにも、修学旅行の実践的課題は、極めて重いといわなければならない。

二、主な実践の内容

クラス別学習テーマ

共通：白石島海洋研修
マリンスポーツ、底引き船体験

① 豊島産業問題研修、因島大橋歩行体験
② 神戸震災体験、関係者より説明（30分）
③ 豊島交流センターで学習

④ 旅行終了後、クラスでレポートを書き、冊子を作成した。



係者との質疑応答会を実施し、旅行終了後、クラスでレポートを書き、冊子を作成した。

修学旅行中の体験により、産廃問題への怒り、生活への影響等について理解が深まり、日常生活においても生徒達が自主的に「空き缶拾い」等の行動をとるようになった。

修学旅行中の体験により、産廃問題への怒り、生活への影響等について理解が深まり、日常生活においても生徒達が自主的に「空き缶拾い」等の行動をとるようになった。

三、環境問題に関する生徒の具体的な行動・実践

① 事前学習
・岐阜市内のゴミ問題を調べる。
（ホームページ、新聞、ニュース等）
・豊島事件の経緯を学習
② 担任による豊島事前打ち合わせ

・豊島産業問題とは
・廃棄物と有害物の違いは何か。
・環境汚染いかに。
・豊島は香川県なのに、なぜ兵庫県の管轄か。
・野焼きとセンソクの関係
・公害等調整委員会てなに。
・豊島産業問題はどうなる

③ 当日
・授業現場見学（30分）
・関係者より説明（30分）
・豊島交流センターで学習

④ 旅行終了後
・参加性との感想文を豊島に送る。
・旅行記を書き、文集にまとめる。
・豊島産廃学習から学んだこと
・学年集いで体験発表
・夏休み全校登校日に代表が体験発表
・生徒会役員立候補にあたり、「ゴミ問題を考え、自分たちで出来ることをやろう」を公約とした。

四、実践の成果

最初受け身であった生徒達も、修学旅行でゴミ問題にもう一歩踏み込んで学ぶ機会を得た。

生徒は調べ始めると、岐阜市内だけでも数多くの問題を抱えていることがわかり、毎日のように新聞・テレビなどの関連記事を追いかけた。

産廃物の学習をする中で、人体にとっての有害物質を知った。

豊島産廃問題での学習ポイント
・豊島産廃問題とは
・廃棄物と有害物の違いは何か。
・環境汚染いかに。
・豊島は香川県なのに、なぜ兵庫県の管轄か。
・野焼きとセンソクの関係
・公害等調整委員会てなに。
・豊島産業問題はどうなる

五、今後の課題

ゴミ問題を忘れさせないためにも、新聞やニュースへの関心を高めていきたい。習成果を学校のホームページに載せる。

次年度以降の修学旅行にも豊島産廃学習を組み入れる。

豊島産廃問題での学習ポイント
・豊島産廃問題とは
・廃棄物と有害物の違いは何か。
・環境汚染いかに。
・豊島は香川県なのに、なぜ兵庫県の管轄か。
・野焼きとセンソクの関係
・公害等調整委員会てなに。
・豊島産業問題はどうなる

豊島産廃問題での学習ポイント
・豊島産廃問題とは
・廃棄物と有害物の違いは何か。
・環境汚染いかに。
・豊島は香川県なのに、なぜ兵庫県の管轄か。
・野焼きとセンソクの関係
・公害等調整委員会てなに。
・豊島産業問題はどうなる

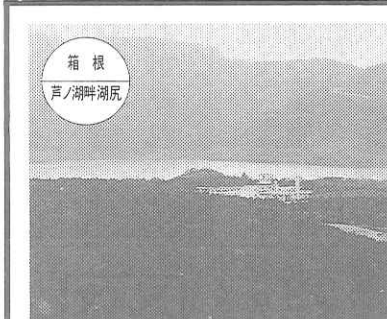
※中津川中はクラス別実施の修学旅行で、これは3年1組の行程

【第1日目 6/9（火）】
中津川 8:20 名古屋 9:12 岡山 9:30 宇野港 10:30 11:10 豊島家浦港 11:50 豊島産廃問題研修 12:10 豊島家浦港 13:45 宇野港 14:00 境が浜（宿泊） 17:20

【第2日目 6/10（水）】
境が浜 8:20 尾道 9:00 9:50 因島大橋（歩行体験） 10:30 瀬戸田 12:30 13:00 カブトガニ博物館 15:00 横島 15:20 白石島 15:55 民権 16:10

【第3日目 6/11（木）】
早朝：底引き網体験 6:30～ 朝食：バーベキュー 8:00～
午前：海浜研修（カヌー、OPボート、セイリングカッター、ウインドサーフィン、ディンギ、ローボート）

のぞみ18号
白石島 12:00 笠岡港 12:20 岡山 13:30 名古屋 14:12 中津川 17:15



箱根 戸/湖畔湖尻
豊かな自然が息づく湖尻高原の中心。箱根高原ホテルは、深い緑の中に700名収容の大ホールや、中小の研修室など、数々の施設が整っています。その他体験コースもいろいろ。心にとこる思い出づくり。感動づくりに素晴らしい環境です。

湖尻高原の大自然に抱かれて
ハートフル・コミュニケーションをお約束します。

箱根高原ホテル
〒250-0500 神奈川県足柄下郡箱根町湖尻
☎(0460)4-8595代 FAX.(0460)4-9488

●修学旅行/林間学校/スキー体験学習

奥日光の自然と仲間たちとの語らい……



夏は林間学校、冬はスキー
自然探勝の基地として日光国立公園内にたつ当ホテルをご利用ください
鉄筋3階建/小学生550名/中学生550名/高校生450名収容/大浴場あり

奥日光高原ホテル
〒321-1662 栃木県日光市湯元温泉
TEL. 0288(62)2121(代表)

—修学旅行の楽しいお食事—

箱根彫刻の森美術館内 レストランコンポート

◇500名様迄、ご利用いただけます。
◇当レストランは、彫刻の森美術館内の施設ですので、入館を必要とします。

〒250-0407
神奈川県足柄下郡箱根町二の平1121
☎0460(2)2221(予約センター)

古代文化 邪馬台国ルート

吉岐へ…

魏志倭人伝に一支国の名で記されている。古代大陸交流の要としてクニを構えていた吉岐。イルカとの共生をはじめ自然とのふれ合いが出来る絶好の教育旅行の場としてお薦めします。

吉岐教育旅行受入協議会事務局
九州郵船
TEL (092) 281-0831
FAX (092) 281-0444
URL http://www.mapion.co.jp